

中川 孝博 (なかがわ たかひろ)

1969年生まれ

1993年 一橋大学法学部卒業

1999年 一橋大学大学院法学研究科博士後期課程修了/博士(法学)

現在 國學院大学法学部教授

◎主要著書◎

『合理的疑いを越えた証明——刑事裁判における証明基準の機能』(現代人文社、2003年)

『刑事裁判・少年審判における事実認定——証拠評価をめぐるコミュニケーションの適正化』(現代人文社、2008年)

葛野 尋之 (くずの ひろゆき)

1961年生まれ

1985年 一橋大学法学部卒業

1990年 一橋大学大学院法学研究科博士後期課程単位修得退学

現在 一橋大学大学院法学研究科教授/博士(法学)

◎主要著書◎

『少年司法の再構築』(日本評論社、2003年)

『刑事手続と刑事拘禁』(現代人文社、2007年)

『少年司法における参加と修復』(日本評論社、2009年)

斎藤 司 (さいとう つかさ)

1978年生まれ

2001年 九州大学法学部卒業

2006年 九州大学大学院法学府博士後期課程単位取得退学

現在 龍谷大学法学部准教授

◎主要著書◎

『ドイツにおける被疑者・被告人の証拠開示請求権の展開』九大法学89号(2004年)

『未決被拘禁者に対する社会的援助』刑事立法研究会編『代用監獄・拘置所改革のゆくえ——監獄法改正をめぐる』(現代人文社、2005年)

『ドイツにおける証拠開示請求権とその憲法的視点——2004年改正刑訴法に対する一つの視点として』法律時報78巻10号(2006年)